

# 平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	職業体験講座の実施と離島地区における職業意識啓発のための「しごとあしびなー」の開催		
法人名	学校法人 沖縄中央学園		
学校名	専門学校 沖縄中央学園		
代表者	理事長 新垣 紀子	担当者 連絡先	新垣 安仁 098-933-9201

## 1. 事業の概要

社会問題となっている若年者の就業離れが沖縄県においてはとりわけ高く、全国ワーストの失業率が改善されず地域経済振興の妨げにもなっている。その大きな要因の1つに新規学卒者(高校・大学等)の無業者化(ニート・フリーター等)や早期離職率の高さ(高卒就職者の6割が3年以内に離職)が長年の課題となっており、特に高校の新卒者については、平成19年度卒業者の約18%(全国平均の約3倍)が無業者化し、その改善が急務となっているため、高校生を対象とした14分野の職業体験講座を県内専門学校の協力で実施し、職業意識の啓発とその職業・職種を理解することにより就職後のミスマッチによる早期離職の改善を図った。また、遠隔地(離島地区)においては、情報格差や地域格差の問題により、職業体験の機会が極端に少なく、学生が自らキャリア形成に関する意識を十分に持たずに就職しているのが現状である。そのため高校2・1年生を対象に職業意識の醸成と仕事理解のための「しごとあしびなー」(「あしびなー」は沖縄方言で「遊び場」の意味)を開催した。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

事業の趣旨・目的の部分で考えると当初の目的は達成できたと考えられる。しかし、数値目標で見ると、離島地区(特に石垣)の参加者が目標を達成できなかった。次回に向けてスケジュールなどの点での課題や改善点が残った。

### ②事業により得られた成果

職業選択が狭く、インターンシップや職業体験の機会が乏しい離島地区における職業体験講座は、学生の職業選択の幅を広げ、また、ミスマッチを防止し、早期離職の軽減や職業意識啓発にも有効である。

### ③今後の活用

今後とも専門学校の持っている設備や職業教育のノウハウを活用し、職業教育の場(職業体験講座など)を広く提供し続けていければと考えます。多くの専門学校の協力が必要です。

### ④次年度以降における課題・展開

次年度は離島地区の高校では、高校を会場に職業体験講座を実施する計画を進めている。また、本島内の高校においてもスケジュールを合わせ学校(学年)単位での職業体験講座の実施の話を進めている学校もあるが、スケジュール調整や高校会場の場合、専門学校設備を利用できないので体験講座の内容に制約が出る。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①職業体験講座、講演会の実施

##### ■本島内職業体験講座の実施(2回)

- ①八洲学園高等学校 参加専門学校6校6分野 会場:八洲学園高等学校 参加者22名  
今回の体験で職業理解が深まりましたか?「とても深まった」50%、「やや深まった」41%
- ②星槎国際高等学校+若年無業者 参加専門学校9校14分野 会場:各専門学校 参加者222名  
今回の体験で職業理解が深まりましたか?「とても深まった」38%、「やや深まった」57%

##### ■しごとあしびなー

- ①宮古1 参加専門学校10校13分野 会場:JA宮古 参加者35名
- ②石垣 参加専門学校9校13分野 会場:石垣市健康福祉センター 参加者5名
- ③石垣 (附帯事業)進路ガイダンス 会場:各高校 参加者219名
- ④宮古2 参加専門学校8校12分野 会場:JA沖縄 参加者72名

#### ②その他